

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	毎月、日中に夜間を想定した避難訓練を実施しているが、さらに防火安全対策を強化していく必要がある。	すべての職員が、夜間の災害に備えた認識をさらに深め、適切な行動がとれる。	・夜間、緊急連絡網を使い、職員が避難訓練誘導できる体制までの時間を把握する訓練を行う。 ・小規模社会福祉施設における夜間の防火管理体制指導マニュアルに基づき、訓練を実施・検証を行う。	12か月
2	35	災害時に備えた物品を準備しているが、非常食等十分な量を確保していく必要がある。	災害時に備え、常に十分な物品を備える。	・併設施設と協働して、有事に備えた物品(非常食等)を再度確認し、十分に準備する。 ・定期的に確実な物品管理を行う体制を再度確認、実施する。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。